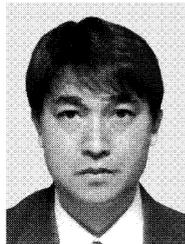


静岡大学 3部門長からのメッセージ

地域連携生涯学習部門

イノベーション社会連
携推進機構の立ち上げに
伴い、これまで大学と地
域との連携、生涯学習の
推進を担当していた旧生
涯学習教育研究センター
および地域連携協働セン
ターは、2012年4月
から機構の中の地域連携
生涯学習部門となった。
本部門では、大学の教
育・研究成果を公開講座
や講演会、授業公開など



部門長
阿部耕也教授

を通じて地域および県民
に知ってもらう取組を
している。公開講座
は、それぞれの専門分野
を生かした特色ある講座
を企画し、小・中学生が
参加できる講座から指導
者を対象にした専門的な
講座まで、多様な講座
が開設されている。さら
に座学だけでなく、身体
を使ったものや化学実験
など体験型の講座も用意

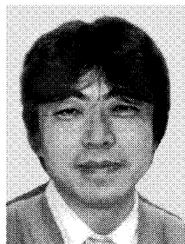
されている。
公開講座に加え近年
は、学生対象の正規の授
業に参加し、学生と密着
して学ぶ市民開放授
業も実施。専門的な講義
や語学なども含め年に5
00科目ほど開放し、約
300人の市民が受講し
ている。
また、マスコミ地域元
生活協同組合などと連携
した連続講座をそれぞれ

県内各地で実施するな
ど、地域社会の団体・組
織と連携・協働した大学
開放事業を行っている。
静岡市、富士市、藤枝
市、吉田町などが主催す
る講座・教室への企画協
力なども行い、市民の学
習機会を拡充する取組
を進めている。
さらに、県内および広
い地域に学習機会を
つなぐため、地域が企画・広
報・会場設定を行い、大
学が講師紹介・派遣を担
当する、無料の公開講座
「しずいたい飛ぶ教室」を
設けた。これまで伊豆
市、川根町、春野町など
県内十数カ所への出前講
座を行った。

あらゆる場面を美しく
BT130C
超高感度・広Dレンジイメージセンサ
BT130A/BT033A
高速度・低雑音イメージセンサ
エリア・ラインにかかわらず、チップサイズ・画素数・フレ
ームレート・感度を満足できるイメージセンサを設計から
供給までサポートいたします。
株式会社ブルックマンテクノロジー
〒432-0936 静岡県浜松市中区大工町125番地
TEL:053-482-7741(代表) FAX:053-482-7742
www.brookmantech.com

研究活用支援部門

研究活用支援部門は、
学内研究成果の出口戦略
を担っている。国立大学
法人化後は、産学連携活
動として大学と企業のマ
ッチングによる技術相談
や共同研究の推進、大学
知的財産権(特許等)の学
企業へのライセンス活
動、さらに大学技術を基
盤とした大学発ベンチャ
ー企業の創出・支援活動
を展開してきた。



部門長
林 正浩教授

これら従来の戦略
に加え、新機構設立後の
社会連携を切り口とした
新戦略は、地域行政機関
などとの連携による社会
的課題解決に向けた、プ
ロジェクトの創出・推進
およびオープンイノベー
ションに基づく大学技術
の国際標準規格への取り
組みを推進している。
社会的課題解決型プロ
ジェクトは、従来の一
企業での技術的課題解
決・製品化に向けた学内

研究成果の活用とな
り、社会に存在するさま
ざまな不具合(課題)に
対し、本学各部署の研究
成果を対象に複数の教員
の研究成果を組み合わ
せ、社会ニーズに適合し
た解決策を提案、推進す
る試みだ。
また、大学技術国際標準
化への取組は、国内
有力ベンチャーや所管庁
の協力の下、国際市場に
ける国内企業の製品力強

一研究成果の活用とな
り、社会に存在するさま
ざまな不具合(課題)に
対し、本学各部署の研究
成果を対象に複数の教員
の研究成果を組み合わ
せ、社会ニーズに適合し
た解決策を提案、推進す
る試みだ。
また、大学技術国際標準
化への取組は、国内
有力ベンチャーや所管庁
の協力の下、国際市場に
ける国内企業の製品力強

研究推進支援部門

大学の知を社会貢献へ
とつなげるためには、広
範な研究領域の中から産
業創出の可能性を秘めた
基礎研究について継続的
な支援を行う必要がある。
研究推進支援部門では、
基礎研究を進める際の
情報・物の出入りに留意
した体制整備を進めて
いる。例えば、研究試料
を授受する際、外為法(安
全保障貿易管理)や生物
多様性条約、カルタヘナ
法などに基づく適切な運



部門長
大西由香准教授

本計画や社会ニーズの動
向を踏まえた競争的資金
の導入支援、上流技術と
なる知的財産の創出支援
および管理である。
研究推進支援部門にお
いては、基礎研究を進め
る際の情報・物の出入りに
留意した体制整備を進め
ている。例えば、研究試料
を授受する際、外為法(安
全保障貿易管理)や生物
多様性条約、カルタヘナ
法などに基づく適切な運

用が研究者に求められる
は、その申請や対応方法
は日々複雑化している。
またプロジェクトにお
ける研究試料のやりとり
については、アカデミア
国内に限らず海外や官
関にも拡大し、その件
数も増加傾向にある。
よって、情報・物の出
入りを適切かつ円滑に行
うことは研究促進につな
がることから、本部門で
は申請支援や研究成果有

体物提供契約(MTA)
について対応している。
これら活動を強化するた
め、関連法令について国
内外の動向を把握し、国
内機関の協力を得ながら
支援体制を構築してい
る。このような研究支援
には、高度な専門的知識
や経験を有する研究支援
人材の確保も重要な課題
である。本学ではコナ
イナーが先行技術調
査や市場調査などを行
い、発明発掘や特許出願
を支援している。
さらに現在、国内の各
大学ではリサーチアドミ
ニストレーター(ORA)
を育成・確保するシステ
ムの整備が進められてい
る。研究開発に知見があ
る人材をURAとして活
用・育成することで、研
究推進体制を強化するこ
うもした。本学でも研
究支援体制としてURA
は重要な機能と捉え、本
部門では2012年度採
択されたポストドクター
・キャリア開発事業と連
動しながら、基礎研究に
対する研究支援体制の構
築および機能強化を推進
したい。

次世代太陽電池(DSC)はSPD研究所にお任せください。
弊社が開発したDSC試作設備
DSC用原材料
SPD薄膜形成装置(KT-25)
株式会社SPD研究所
〒432-8011
浜松市中区城北2-35-1
TEL: 053(474)7901
FAX: 053(401)7080
URL: http://www.spdlab.com
E-mail: inq@spd-lab.com

Hello, small world!
あたらしい可能性をプラスする。
N+ BOX
New Next Nippon Norimono
http://www.honda.co.jp/nboxplus/
スピードはひかえめに、シートベルトを正しくして安全運転。お子様にはチャイルドシートを。

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS
光で宇宙を探る。
浜松ホトニクス株式会社
〒430-8587 浜松市中区山崎325番地の6 日本生命浜松駅前ビル
TEL (053) 452-2141 (代表) FAX (053) 456-7889 URL http://jp.hamamatsu.com/

第一工業株式会社
生まれ、育てた技術は次の創造へ
●取扱い製品 各種自動車用・汎用機用・建築用・家電用他ファスナー、部品
●新製品 チタン製キャップナット、高強度ステンレスボルト、高強度アルミボルト、他各種ファスナー
●開発/新技術製品 高トルク対応型インサートナット/完全非調質高強度ボルト
■東京営業所 TEL(03) 5902-5171 ■鈴鹿営業所 TEL(0593) 87-1437
■大阪営業所 TEL(06) 6338-3637 ■富山営業所 TEL(0766) 67-3331
■倉敷営業所 TEL(086) 426-9118
■福岡営業所 TEL(092) 426-9118
■札幌営業所 TEL(011) 426-9118

YAMAHA
感動を、ともに、創る
簡易組立型防音室「不燃ユニット」
業界初の「不燃対応ユニット型」防音室 内装制限適用区域内への設置も可能
設置・移設が容易でレイアウト変更も簡単 ユニティ化により、およそ3~4時間で設置可能
ヤマハ独自技術による高い遮音性能 「Dr-35」「Dr-40」の2タイプをご用意
【主な用途】
音声録音ブース、電話アポイントメントルームなど録音スタジオ、
録音制作をはじめとしたDTM制作ルーム、研究室・試験室・病院の検査室など
※導入時期は異なります
音のヤマハの防音室 アビテックス
http://www.avitecs.com/ 0120-284-808
アビテックスお客様相談センター (月~金(祝日除く)9:00~17:00)
カタログ希望の方は、郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記の上、〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1 ヤマハ株式会社防音事業推進部 23-73へまで。 ヤマハ株式会社

乗る人の、そのところを動かしたい。
私たちのものづくりの基準である「感動」は、たとえばヘルメットの中に広がる表情の変化で表せるかもしれません。かつて味わったことのないような
驚きや喜び、あるいは沁みわたるような充足感。そうしたかけがえのない瞬間を、海で、陸で。乗る人の、ところを動かしたい。
感動創造企業・ヤマハ発動機。
www.yamaha-motor.co.jp/ YAMAHA ヤマハ発動機株式会社